



5 人口増推進室



4 環境課



3 秘書室

## インターンシップ 活動の記録

—— 計 26 部署で現在の自分を試し、経験を積んだ



10 消防本部



7 市政情報課



6 ふるさと納税推進室



9 地域応援課



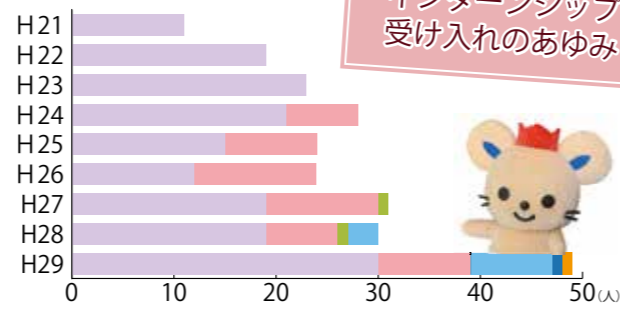
8 こども課

- ① 園児としゃぼん玉で遊ぶ ② 地食べ公社の畑でピーマンを収穫 ③ ガラス張り公開市長室で司会を務める  
④ 自然学校で子どもと触れ合う ⑤ 空き家を調査 ⑥ 桃の集荷場で出荷までの流れを学ぶ ⑦ インター  
シップ生の活動の様子を取材 ⑧ 歯科検診で親子を案内 ⑨ 橋梁の補修 ⑩ 消防署で放水訓練

## 大学と連携し、将来を担う人材を育成

平成 21 年に岡山県立大学と包括協定を締結したことをきっかけに、1 大学 11 人からインターンシップ生の受け入れがスタートしました。現在、6 大学と協定を締結しており、今年は過去最多の 49 人が参加。9 年間で延べ 239 人の学生が総社市でインターンシップを行い、社会への足がかりとしています。

将来を担う若者に市役所での就業体験の機会を提供するとともに、市役所組織の活性化を図ることができるインターンシップ。第 2 次総社市総合計画では、平成 32 年の受け入れ 60 人を目標に掲げています。



岡山県立大学 10人、くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 10人、青山学院大学 10人、川崎医療福祉大学 5人、京都産業大学 0人、中国短期大学 0人



2 農林課



1 きよね認定こども園

# 学生が描く 自分と総社の未来図

## インターンシップへの 参加学生は過去最多

8月9日から9月9日までの間、岡山県立大学、くらしき作陽大学、川崎医療福祉大学、中国短期大学、京都産業大学の学生49人が市役所でのインターンシップに参加。公務員の仕事を体験しました。

問い合わせ 政策調整課 (☎08213)

大学生が在学中に専攻科目や将来目指す職業に関連する企業、行政機関で就業体験を行うインターンシップ。市では今年も体験を希望する学生の受け入れを行いました。

5 大学から過去最多となる 49 人が、総社市を希望してインターンシップに参加。今年度初めて、中国短期大学と京都産業大学からもそれぞれ 1 人が参加しました。

将来を担う人材を育成するとともに、学生らしい感性による独創性に富んだ提言を取り入れる機会となるインターンシップ。市では今後も各大学と連携し、インターンシップを通じた人材育成に取り組んでいきます。

学生はインターンシップ終了後、体験をもとに市の制度や施策の改善、新たな試みなど、市が取り組むべき課題を政策提言書にまとめて提出します。提言書は市と大学で審査し、優秀提言を選定。優秀提言は実行に移していきたいと考えています。

は体験できない、市民サービスを中心とした業務に携わり、仕事との向き合い方を学びました。

